

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol. 66

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (令和2年12月20日発行)

WINTER 2020

令和二年度 秋季定例会(雇用改善推進会議)

令和二年十月三〇日(金)

リーガロイヤルホテル大阪

A. 定例会報告

- 一. 開会の辞 副会長 篠森 義晴
- 一. 全鉄筋会長挨拶 会長 岩田 正吾
- 一. 来賓祝辞・挨拶

防衛副大臣 兼 内閣府副大臣
衆議院議員 自由民主党 中山 泰秀様
衆議院議員 公明党副代表 斉藤 鉄夫様

(1) 各事業委員会報告

- 経営委員長 副会長 篠森 義晴
 - 広報委員長 副会長 知念 辰昇
 - 外国人受入事業委員長 副会長 武田 美治
 - 教育訓練委員長 専務理事 飯島 勉
 - CCUS企業評価事業委員長 常任理事 新妻 尚祐
 - 技術委員長 常任理事 飛田 良樹
 - 労務委員長 常任理事 飛田 良樹
- (2) 就労人口調査、社会保険加入状況の
纏め報告

社保・就労調査WG 佐々木善弘

B. 講演

- (3) 各地区における受注単価・労務状況等報告 事務局
- (4) 新規加盟団体のご紹介

「建専連」アメリカ、ヨーロッパ視察を 踏まえた方策の提案

芝浦工業大学建築学部建築学科

- 教授 蟹澤 宏剛様
- 副会長 知念 辰昇



「CCUSは絶対必要」 岩田 登録推進を訴える



全国鉄筋工事業協会(岩田正吾会長)は10月30日、出席者を傘下の各団体長と副理事長(副会長)に限定し、ウェーブ会議併用で秋季定例会(雇用改善推進会議)を大阪市のリーガロイヤルホテル大阪で開いた。

岩田会長は建設キャリアアップシステム(「CCUS」)について「さまざまな意見はあるが、将来的には絶対必要だ。欧米では資格制度がしっかりして、教育・評価・対価のループが回っている。日本は600万〜700万円で、職長に600万〜700万円渡せると断言できるのか、と言声もあり、全鉄筋としてはCCUSのレベル4で500万〜1500万円とし、将来的には1日5万円、20日で100万円、年間1200万円を目標とする。優秀な人、トップレベルの人はそれくらいもらえる夢がなければ若い人は入職してこない」と強調した。また、「国やゼネコンは現実の資金から積み上げていくという考えで、両方の考え方があり、議論していく問題だ」との考えも示した。そして「すべては会員サードパーティのためになる決意で取り組んでいく」とし、いまのニーズやマーケットにあわせて、国や自治体の制度だからと諦めるのではなく、制度が悪ければ変えるべく取り組む考えを改めて示した。

岩田会長は建設キャリアアップシステム(「CCUS」)について「さまざまな意見はあるが、将来的には絶対必要だ。欧米では資格制度がしっかりして、教育・評価・対価のループが回っている。日本は600万〜700万円で、職長に600万〜700万円渡せると断言できるのか、と言声もあり、全鉄筋としてはCCUSのレベル4で500万〜1500万円とし、将来的には1日5万円、20日で100万円、年間1200万円を目標とする。優秀な人、トップレベルの人はそれくらいもらえる夢がなければ若い人は入職してこない」と強調した。また、「国やゼネコンは現実の資金から積み上げていくという考えで、両方の考え方があり、議論していく問題だ」との考えも示した。そして「すべては会員サードパーティのためになる決意で取り組んでいく」とし、いまのニーズやマーケットにあわせて、国や自治体の制度だからと諦めるのではなく、制度が悪ければ変えるべく取り組む考えを改めて示した。

尽力した東洋建設工機に感謝の意を表するとともに、沖縄の2組合が統合に向けて活動している状況も報告した。各事業委員会の報告では、ホームページの会員専用ページをリニューアルしたことや、技術研さんのためのマッチング支援システム「MSI」を21年1月から会員企業へリリースすることも報告した。第2部では、蟹澤宏剛芝浦工大教授が米国と欧州の視察を踏まえて、わが国の建設技術者の経済的・社会的地位の向上への提案を行った。欧米の視察を踏まえた提案の詳細は、11月19日に開く建設産業専門団体連合会の全国大会で紹介する。

組合紹介

鳥取県鉄筋協同組合

鳥取県協同組合の紹介をさせていただきます。

鳥取県は、全国で一番人口の少ない県で、日本海、中国山脈には生まれた自然豊かな土地で数年、豪雪地帯としても何度かTVで紹介されました。

東部には、ご存知、鳥取砂丘、中部には、絶壁に建立された、三徳山三佛寺投入堂、西部には、中国地方最高峰大山、などがあります。県知事のダジャレで、冬の味覚紅ズワイガニで、蟹鳥県、満点の星空がどの市町村から見えるで、星鳥県、としてアピールしています。

又、まんが王国として、水木しげるさん(ゲゲゲの鬼太郎)、青山剛昌さん(名探偵コナン)、谷口ジローさん(孤独のグルメ)それぞれゆかりの地として、紹介しています。

近年、道路整備により、近県とのアクセスが容易になりつつあります。のんびり自然を満喫するのは、いかがですか？

鳥取県協同組合は、4月発足時13社加入しております。今まで個々で、頑張ってきたのですが、人材不足、情報不足等を、補うためそして鉄筋業界の発展を考えると、きたりたではないかと思いい協力して、こうと発足に至りました。

そして、全鉄筋に加入でき、新たな情報、技術等学べる機会ができ、若い世代に伝えるべく鉄筋工事業のレベルアップしたいと思います。

又、お声かけさせていただく際、ご指導、ご教授いただければと思います。全国の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年度 大臣表彰 授章者一覧



建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰

大阪府建団連
関西鉄筋工業協同組合
株式会社 田浦
田浦 真一様
副理事長
代表取締役社長



職業能力開発関係厚生労働大臣表彰

職業訓練法人熊本市職業訓練協会
熊本県鉄筋工事協同組合
株式会社 中村鉄筋工業
中村 隆様
理事長
代表取締役

令和2年 秋の褒章 授章者一覧

褒章「黄綬褒章」

(公社)全国鉄筋工事業協会 理事
千葉県鉄筋業協同組合 理事相談役
株式会社ダイニッセイ 代表取締役会長
池田 慎二様



叙勲「旭日双光章」

(公社)全国鉄筋工事業協会 理事
茨城県鉄筋業協同組合 理事長
株式会社大平組 取締役会長
大平 時彦様



鉄筋工事業 イメージアップポスター制作 途中経過報告



高校生による業界イメージアップポスターのデザイン制作ですが、神戸市立科学技術高等学校の5名の生徒さんにより順調に進んでおります。まずは生徒さんに1案ずつデザインを出してもらい、その中から1つに絞り込み5名みんなで1枚のポスターデザインを制作してくれています。9月には生徒さんがそれぞれ制作してくれたポスターデザイン案を見るために学校に伺い、生徒さんにデザインについてのプレゼンをしていただきました。会員の皆様にもそれぞれのポスターと生徒さんの制作意図をご紹介します。現在制作中の最終的なポスターは近々完成の予定です。
女性活躍推進WG 安藤未都

公益社団法人全国鉄筋工事業協会

No.1

テーマは鉄筋。鉄の筋肉をイメージ。赤い色で目につきやすく、あえて情報量を少なくした。

〒101-0046 東京都千代田区神田多町二丁目6号
TEL: 03-5377-5959
URL: <http://www.zentekkin.or.jp/> GO!

公益社団法人全国鉄筋工事業協会

No.2

鉄筋をおしゃれに見えるように意識して制作した。パッと見で、作業員の雰囲気と出来上がりが見えるようにした。

公益社団法人全国鉄筋工事業協会
〒101-0046 東京都千代田区神田多町二丁目6号 TEL: 03-5377-5959
URL: <http://www.zentekkin.or.jp/>

公益社団法人全国鉄筋工事業協会

No.3

筋肉ムキムキの鉄筋工のイメージを主体にした。鉄筋工事は建物の骨組を作っているという事、又鉄筋工のイメージ「職人技」「心意気」という文字も入れて制作した。

公益社団法人全国鉄筋工事業協会

No.4

カッコいい、この業界に携わりたい、鉄筋工は重要な仕事という事をアピールした。色も青でさわやかなイメージにし、イラストの人物も明るく前を向く表情にした。鉄筋が、街全体を造る骨の役割ということを伝えたくて「骨を作る、匠」と入れた。

〒101-0046 東京都千代田区神田多町二丁目6号
TEL: 03-5377-5959
URL: <http://www.zentekkin.or.jp/>

公益社団法人全国鉄筋工事業協会

No.5

鉄筋というものを健康・人間の骨の造りと重ね合わせて制作した。前回の授業で鉄筋工が悪いイメージの3Kと聞いたが、自分なりに考えた鉄筋工の良いイメージの3Kを記載し、赤い文字でパワーと躍動感を表現した。

各地区広報活動報告

協同組合東京鉄筋工業協会

協同組合東京鉄筋工業協会では、工業高校・少年院・刑務所等、様々な施設で出前講座を開催しています。

本年度は、コロナの影響により感染拡大防止の観点から、ほぼ全ての出前講座が中止になっており、唯一、東京都立多摩職業能力開発センター八王子校にのみ開催に至っております。

同校の出前講座は、東京都の建設人材育成事業（鉄筋コース）として行われており、当協会は2015年より講師を派遣しております。本年度も、緊急事態宣言時の期間を除き、6月・10月と2回講師を派遣いたしました。

講義の内容として

- ・建設概論が1日、鉄筋に関する基礎知識・安全及び原価計算等の座学を行います。
- ・鉄筋施工は3日に分けて次のような実習を行います。

- ① ベンダーを使用した鉄筋加工
- ② 鉄筋組立2級モデルを使用した鉄筋組立の実習

鉄筋組立の実習は、結束の仕方を教えるところから始まり、ピッチの追い出し方、配筋の仕方、スペーサーのかけ方、役割等を教えます。また、実際に組み立てたものが建物のどこの部分なのか等を、詳細に説明します。

初めのうちは、講師の説明を聞きながら組立っていますが、最終日には自分たちで組み立てられるようになっています。

受講者は東京都及び近県から建設人材育成事業（鉄筋コース）に応募した希望者のため、鉄筋工事に興味のある人や、入社したての若者が多くみられます。



我々は講義を通じて鉄筋施工の楽しさや、鉄筋工業の良さが伝わるとしております。

今年度は、他の出前講座は全て中止になってしまいましたが、コロナが落ち着いた時には、また出前講座を再開し一人でも多くの人に、鉄筋工業の魅力伝える活動をしたと考えております。

建設マスター 優秀施工者土地・建設産業局長顕彰



野村 大介
株式会社シバタ工業
北海道鉄筋業協同組合



五十嵐弘伸
有限会社下郷鉄筋
福島県鉄筋業協同組合



菅谷 優介
株式会社カナダ
栃木県鉄筋工業協会



小松 正義
平子鉄筋株式会社
協同組合東京鉄筋工業協会



船井 憲之
株式会社若穂鉄筋工業
長野県鉄筋業協会



森山 直樹
株式会社城東鉄筋
関西鉄筋工業協同組合



岸 洋司
岸鉄筋株式会社
徳島県鉄筋工業協同組合



株柳 修二
武田建設株式会社
香川県鉄筋業協同組合

全鉄筋外推薦



垣内 重行
株式会社垣内鉄筋工業
長崎県鉄筋工業協同組合



井上 和也
有限会社浜田鉄筋
熊本県鉄筋工業協同組合



澤井 哲
梶原鉄筋工業株式会社
東京都鉄筋業協同組合



奥村 修治
石澤工業株式会社
東京都鉄筋業協同組合

ジュニアマスター 青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰



金子 祐介
株式会社サンエーテック
宮城県鉄筋工業協同組合



細川 将希
株式会社ダイニッセイ
千葉県鉄筋業協同組合



宮村 良太
株式会社宮村鉄筋工業
福岡県鉄筋業協同組合



関西鉄筋工業協同組合

奈良で複数校対象に出前講座開催

- 朱雀高校、吉野高校の生徒59名が参加 -

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は11月9日、奈良県立高等技術専門校で出前講座を開催しました。この出前講座は（一社）奈良県建設業界の主催により、生徒たちに建設業が様々な業種で成り立っていることを知ってもらい、実際に体験をすることで将来の進路選択の幅を広げてもらおうと実施されたものです。

当日は午前と午後の部に分けて行われ、このうち午前の部では朱雀高校建築工学科の2年生36名が4班に分かれて「3級鉄筋施工（鉄筋組立作業）」の実技問題と同様の組立を体験しました。

生徒たちは、最初は慣れない手つきでハッカーを使って結束作業に取り組んでいましたが、プロの職人の指導や助言を受けながら一生懸命に作業を進めていました。

奈良県での出前講座ということもあり、講師は組合会員の奈良県企業が中心となって務めて生徒たちを指導しました。



鉄筋結束や壁塗り作業を体験

- 修成建設専門学校で出前講座 -

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）と大阪府左官工業組合（邑智保則理事長）は合同で11月13日、修成建設専門学校（大阪市西淀川区）で出前講座を開催しました。

両組合による合同出前講座は「より多くの職種体験による魅力発信」を目的としたもので、当日は同校の専科2級建築士科の学生27名が参加。最初に、両組合を代表して左官組合の邑智理事長が「実際に鉄筋を組み、壁を塗ってもらうことで、私たちの仕事について理解を深めてもらいたい。これから皆さんが仕事をしていく上で必ず役に立つはず。きょうは安全に注意し、楽しんで体験してください」と挨拶しました。

続いて鉄筋組合の森山直樹副理事長が安全面の注意事項や作業の概要などを説明した後、学生は3班に分かれ、3級鉄筋技能検定課題の組立作業と壁材の塗り付け作業を体験。学生たちは職人の指導に耳を傾けながら熱心に作業に取り組んでいました。



高校生が鉄筋結束や壁塗り作業体験

- 西野田工科高校で関西鉄筋組合らが出前講座 -

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）と大阪府左官工業組合（邑智保則理事長）は11月17日、大阪府立西野田工科高校（大阪市福島区）で合同の出前講座を実施し、建築都市工学系の2年生61人が受講しました。

講座開始に先立って、左官組合の邑智理事長が「私たちの仕事は体を使う大変な仕事だが、モノづくりの楽しさを実感できる仕事でもある。ぜひ、みなさんも自分の手でものを造り上げる喜びを体感してほしい」と挨拶しました。

生徒たちは続いて、鉄筋組合の森山直樹副理事長の作業を進めるに際しての注意事項や説明を聞いた後、3級鉄筋技能検定課題の組立と左官の壁材の塗り付けを体験。普段は使うことのないハッカーやコテに苦戦しながらも熱心に作業に取り組んでいました。



トピックス 委員会報告

経営委員会

委員長の篠森義晴副会長が統括的な話題に加え、「会員名簿を電子化し、全鉄筋ホームページ内の会員専用ページに会員管理システム(会員名簿)を10月30日に立ち上げ、スタートさせた」ことを紹介した。

広報委員会

委員長の知念辰昇副会長が季刊誌POWERの発行状況について報告するとともに、全鉄筋ホームページの「会員専用ページ」をリニューアルし、立ち上げた「全鉄筋ポータルサイト」の内容充実に向けて、会員からの提案を求めた。また、女性活躍推進WGとともに、神戸市立科学技術高等学校とタイアップして、「女性も男性も鉄筋工事業への入職を促す学校配布求人ポスター」を制作中で、今年中に完成させ、会員団体に配布する予定であることも報告した。

外国人受入事業委員会

委員長の武田美治副会長が、技能実習生・建設就労者受け入れ状況、技能実習生受け入れ予定、特定技能外国人の支援契約状況、特定技能制度の概要と費用負担などについて説明した。10月末時点での技能実習生(1号・2号)の受入人数は57社、265人。同(3号)は9社19人。建設就労者は19社、50人となっている。また、第99次技能実習生の受け入れの募集を12月頃に行う。ベトナムでの面接を令和3年3月12日から3月15日に実施する予定で、入国日は8月29日、企業配属日は9月30日、企業入社日は10月1日となる。特定技能外国人の支援契約状況について、10月8日時点では28社58件、在留許可は集計時点では38件となっていることを紹介。さらに、特定技能1号について、1年ごとの在留期限で、4~6カ月ごとの更新となり、最大5年の在留期間となることを説明した。費用負担は概算で1人当たり月26万2500円から27万6000円となることも付け加えた。

技術委員会、CCUS企業評価事業委員会

兼任委員長の新妻尚祐常任理事は、鉄筋工事配筋要領書(2019年版)改訂について、21年に配筋指針の改訂、22年にJASS5の大改訂が予定されていることから23年に改訂することが合理的ではないかとした。また、鉄筋技能教育テキスト(平成28年度版)について「近年の出題を考察して、21年には改訂する予定だ」とした。鉄筋工事加工手順書(2012年版)は、JISが改訂されているので、改訂を考える方針だ。特定技能関係では建設分野特定技能1号評価試験問題の最終確認と教育訓練用テキストの作成を進めていることを説明した。また、CCUSについては、企業評価事業委員会の活動に関して報告するとともに、「加工場で働く人も企業評価の対象であり、各社の施工体制を登録しなければ正確なデータが登録されない」ことを指摘し、注意を促した。

教育訓練委員会

委員長の飯島勉事務理事は、5月11日から5月27日に富士教育訓練センターで実施する予定だった鉄筋基礎講習はコロナ禍により中止としたことを報告した。また、登録鉄筋基幹技能者講習の開催日程について報告するとともに、来年度の更新講習該当者が全国で803人おり、忘れず受講するように呼びかけた。内訳は北海道が27人、東北74人、関東302人、北陸28人、中部99人、関西155人、中国・四国39人、九州65人、富士教育訓練センター14人となっている。また、来年度に第4回全国鉄筋技能大会(TETSU-1 GRAND PRIX)を開催する予定だ。

労務委員会

委員長の飛田良樹常任理事が、まず「すべての鉄筋業者が全鉄筋に加盟し、技術・技能の敬称・研鑽はもとより法令遵守と鉄筋工事業界の地位向上を目指して事業を進めている」ことを説明した。

具体的には、北海道から九州まで全国9ブロックごとに協力会社の団体を設立し、全鉄筋に加盟させるとともに、生産性向上につながる、合法的技術研鑽システムの開発し、活用して、出向契約を支援する。システム開発は完了し現在、労務委員会でテスト運用して検証しているところで、2021年1月1日から「技術研鑽のためのマッチング支援システム[MSJ(Matching system for improvement Ver.1.0)]」を全会員にリリースする。

MSJは、鉄筋工が不足している技能研鑽現場を登録して他社から募りたい企業と鉄筋工が余剰している研鑽現場を探して他社に送り出したい企業とを合法的に結び付けるシステム。鉄筋工を募る場合は現場情報や研鑽機関、募集計画、募集責任者、受け入れ現場の責任者(職長)を入力し、地域など公開する範囲を選択して、募集対象を指定する。一方、送り出す側は、公開されている現場を選択し、情報を閲覧して直接電話で交渉する。

交渉確定後、受け入れ側の募集責任者がシステム上で送り出し企業を選択し決定して、送り出し側の責任者に鉄筋工を選択し、研鑽出向日を確定し、登録する。技術研鑽のための送り出し計画が成立すると、受入事業者と送り出し事業者の現場責任者(職長)へ自動的にメールが送信される。送り出し事業者の職長は現場の場所など詳細情報を確認する。

サイトからは送り出し先での勤務状況を報告でき、受入事業者の職長は明日以降の送り出し詳細情報を確認し、その日の施工が完了した時点で、送り出し鉄筋工の勤務状況を報告することで、作業証明書の発行に替えることができる。

また、自社の鉄筋工の配置予定と過不足を事前に把握し、技術研鑽のための受け入れと送り出しを計画的に管理し、準備のできるシートも用意されており、鉄筋工の不足や同じ鉄筋工が重複している場合などは色で表示されるほか、日をクリックすると当日の配置計画が表示され、画面から鉄筋工の選択や配置計画を変更できる。さらに色々な画面で印刷できる。

また、協力会社の団体は現在、4地区で設立されている。具体的には一般社団法人関西鉄筋工業下請連合会が3月17日付、一般社団法人関東鉄筋工業協力会社連合会が8月28日付、一般社団法人九州鉄筋工事業協会と一般社団法人東海鉄筋協力が10月17日付で全鉄筋に加盟した。残る北海道、東北、北陸、中国、四国の5地区で設立されれば、全国を網羅することになる。

経営委員会社保・就労調査WG

2020年度就労人口調査・社会保険加入状況のまとめについて経営委員会社保・就労調査WGリーダーの佐々木善弘氏が報告した。

◎就労人口調査

「鉄筋工事業に従事する5人に1人は外国人就労者であり、業界にとって欠かせない存在となっている」ことを指摘。2020年度就労人口調査結果によると、就労人口4万0032人のうち外国人就労人口(実習生プラス就労者)は7287人で18%を占める。また、調査結果から会員外を含めた現場就労者数は3万5201人と推定される。

調査は傘下の43組合1053社に対して実施、887社から回答を得た。回答率は84%。4万0032人の就労者数のうち、1次は1万7139人、2次以降が2万2893人。1社当たりの平均就労者数は45人。回答社数が異なり、回答率も89%から84%となっているため前年度と単純に比較できないが、前年の4万2090人から2000人超の減少となっている。直用比率は43%で、大都市圏ほど低く、北陸など地方ほど高い。

これを現場作業員に限ると、3万1492人(1次9713人、2次以降2万1779人)で、1社当たり平均36人。直用比率は31%に低下し、とくに、関東、関西、中部が低く、その他の地域は50%を超えている。

外国人就労者に限ると7287人で平均8人だが、東京周辺と関西地区が突出して多い。また、回答社数が異なり、回答率も89%から84%となっているため前年度と単純に比較できないが、それでも前年から約800人増加しており、外国人材に頼らざるを得ないのが現状である

◎社会保険加入状況まとめ

社会保険加入状況については、803社から回答を得た。回答率は76%で、回答合計人数は3万0738人。このうち厚生年金加入率は84.0%、国民遠近加入率は14.8%で、2つを併せた公的年金加入率は98.9%で、ほぼ加入している。

広報委員会委員長 知念 辰昇

台風は亜熱帯地域の海上で海水が太陽光熱に耐えきれず大量の水蒸気が上昇して空気が渦を巻き台風となり、台風は目と外気圧の差が最も大きいときに頂点となり、内外の気圧が一定になると、大小被害はあるが、自然に必ず終息する。一方、当初熱に弱いと言われていたコロナウイルスは熱にも強く、台風と比較するのは当てはまらないものの、旧型ウイルスはあまり強くならなかったようだが、新型ウイルスは中国武漢市で進化して現れ、今年に入り世界中で猛威を振るい、世の中の経済をドンドンと追いやっていく。1年もの間、新型コロナの対応で旅行業、飲食業は打撃を受け、業績良いと言われている建設業も、仕事がないので請負単価が下がり、稼働日数が少ない、などで今年の売上収益ともにほとんどどの業者が例年の30%以上の減収ではなかったであろうか。そのコロナ渦の中、生産性の向上の一環として、設計図のD10mmをD13mmに変更することの成果物を茨城県鉄筋業協同組合の大平理事長が成し遂げました。私は、POWER 61・64号のコラムに、設計図書にD10mmをなくしD13mmの設計にしてほしい旨を発信、国交省大臣官房又は日本建築学会の建築工事共通・標準仕様書を変更しトップダウンを考えていました。しかし、茨城組合はその小学校の設計図を、品質、鋼材のコスト、元請け専門業者の生産性の全てを比較し、総合的に良くなることを納得させ、ボトムアップ変更にも成功しました。次回には詳しく説明し、水平展開し、その方法を皆で共有して更なる生産性の向上に役立てられればありがたいと考えています。平成24年より始まった建設職人の社会保険加入運動は、80%は加入したかと思われ、その20%の多くは社会保険逃れの偽装一親方ではないでしょうか。また、設計労務単価のアップに伴い、請負単価も国交省の想定までは程遠いがややアップしたと思われ、そしてこれらの集大成がCCUSではないでしょうか。今年3月までに申請した人達は直接ゴールドカードを取得し、白カードの人達はこれからステップアップの段階ですが、トーンダウンすることなく、この流れを止めてはいけません。行政は職人の収入アップに4段階ごとの賃金設定が不可欠ですが、様々な要因から大変難しい課題です。しかし、CCUSの目的はそれだけではありません。国交省が次年度開始を目標に進めている「専門工事企業の施工能力の見える化評価制度」と併せて、建設職人を定義し、法令順守する企業が評価され、アウトサイダーを排除することにより、専門工事業者と職人の地位が確保される。すなわち、職人の収入アップにも繋がるといえる。早急に、4万鉄筋工にはCCUSカードを取得してもらいたい。そうすることにより、なお一層鉄筋工仲間の意識も増し、結束の絆となるはずだ。

編集後記

リーマンショックを思い出せ!

2008年建設業界は安値受注の波に付随した。社員を1人親方化し、苦しくなった協会では、この業界から消えて行った。その後オリビック招致によって回復に向かう。このよくな時を経て、現在に至る。今日のコロナ渦で、リーマンショックを思い出す。コロナの影響で世の中は不安定で不確実、複雑で曖昧になった。アフターコロナは、今までの延長線上にはないといわれている。そんな世の中で大切なのは、アンラニングといわれるのだ。「アンラニング」とは「unlearning」とは既得の知識・習慣を捨てること。環境変化の激しい現代社会を生き抜くために、過去の経験にとらわれないよう、意識的に学習知識を捨てること。と辞書にある。私たちはどうだろうか? 業界の常識に囚われその延長線上に未来があると考えていないだろうか? こんな時代だからこそ固定観念を捨て、一緒に考えてみよう。人々の財産、安全な暮らし、そして生命を守る業界が、景気に左右されるなんておかしいですね。正當な対価を貰いたいとゼネコンさんに説明した中で、少しでもそれに近づける努力をされている会社の方もいると思います。そうではない会社がある、全ての業界で。そんな世の中になっっていると感じている。真面目にやっている会社がバカをみる業界であってほしい。日々努力していくしかない。せっかくなので、頑張って積み上げてきたものが有るとすれば、0には戻さない。全鉄筋は「結束」を合言葉に、一致団結して変革を実行しよう。

工藤 桂一 松本 勝

- 編集委員 知念 辰昇(鉄工協) 宮本ゆり子(山口) 木浪 裕子(北海道) 工藤 桂一(神奈川) 田浦 真一(関西) 兼澤 伸至(広島) 松本 勝(静岡)